

農業 × 福祉で地域を元気に！

愛知の農福連携

取組事例集

農福連携で
農作業助かってます！



令和6年3月

愛知県農福連携相談窓口

農福連携とは、

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、

自信や生きがいを持って

社会参画を実現していく取組です。

農福連携に取り組むことで、

障害者等の就労や

生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、

担い手不足や高齢化が進む農業分野において、

新たな働き手の確保につながる

可能性もあります。

農福連携に関する様々な情報を発信しています。



愛知県公式ウェブページ

「あいちの農福連携」

目次

2023 年度に農業者と福祉事業所のマッチングにより 新たに農作業請負が開始された農福連携の取組

- **ブロッコリー農家** 出荷箱の箱折り作業 … 1
- **柿農家** 剪定枝の集積作業 … 3
- **ニラ農家** 選別、そぐり(外葉を取り除く作業)、
結束作業 … 5
- **自然薯農家** パイプの洗浄・土詰め作業 … 7
- **いちご農家** 出荷箱の箱折り作業 … 9
- **ほうれん草農家** 出荷調製作業 …11

愛知県農福連携相談窓口では、農作業を委託する農業者の協力を得て、障害者就労施設やその利用者さん向けに農作業マニュアルを作成しています。
各事例紹介ページにある二次元バーコードからマニュアルを確認できますのでご覧ください。

農福連携 事例紹介 ①



所在地：豊橋市

品目：ブロッコリー

- ・ブロッコリー農家での出荷箱の箱折り作業
- ・就労継続支援B型事業所への農作業委託
- ・作業時期：2～3月
- ・作業頻度：週1回程度・10：00～12:00頃

農福連携に取り組んだ経緯

- ・農福連携に興味があった。
- ・相談窓口では、農福連携の基礎を説明するとともに、作業を請け負ってくれる施設探しや作業工賃の調整、作業マニュアルの作成などの支援を行い、マッチング成立まで導いた。

感想など

【農業者の感想】

これまではアルバイトやパートも含めて人を雇用したことがなかったので、農福連携で初めて人を雇用してみたがとても助かった。利用者の方たちはお互いに声をかけ合って作業をしていて、とてもチームワークが良く作業効率も良かった。健常者よりも作業スピードは早いのではないかと感じた。

【今後の展望（農業者）】

今回はブロッコリーの出荷箱の箱折り作業をしてもらって非常に助かったので、今後は可能であればレタスや苦瓜の出荷箱の箱折り作業もお願いできればと思っている。

作業内容



葉付きブロッコリーを出荷するための出荷箱を組み立てる作業。

複雑な作業工程はないので、障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

ダンボールを逆さにして底になる部分をテープでとめ、元の向きに戻してから上から袋を被せる。

組み立てた出荷箱は上に4つまで重ねて、並べて置いておく。



作業マニュアル

静止画マニュアル



動画マニュアル



農福連携 事例紹介 ②



所在地：豊橋市

品目：柿

- ・ 柿農家での剪定後の枝の集積作業
- ・ 就労支援事業所への農作業委託
- ・ 作業時期：2月
- ・ 作業頻度：単発・10：15～12:15頃

農福連携に取り組んだ経緯

- ・ 農福連携に興味があった。
- ・ 既に農業者と福祉事業所との間で農作業委託の話ができていた。
- ・ 相談窓口では、作業内容の切り出しや作業工賃の調整などを行い、マッチングが成立。

感想など

【福祉事業所の感想】

農家の方に“障がい者の方にどうすれば効率よく安全に作業してもらえるか”を体感してもらうことができたと思う。また、障がい者の方の作業幅も業務の切り出しによって広げられると農家に提案した。

【今後の展望（農福連携技術支援者）】

農家の方が農福連携は初めての試みということで、段階的にフォローするなど継続的な支援が必要であると感じた。

作業内容



農業者が剪定した後の、落ちてい
る柿の木の枝を集める作業。

枝の太さや大きさは関係ないため
障がい者の方でも取り組みやすい
作業となっている。

集める単位としては6本おきに木
と木の間を枝をまとめて集積させ
る。

枝の太さや大きさを区別せず、目
についた枝はすべて集める。



作業マニュアル

静止画マニュアル



動画マニュアル



農福連携 事例紹介 ③



所在地：豊川市

品目：ニラ

- ・ニラ農家でのニラの選別、そぐり（外葉を取り除く作業）、結束の作業
- ・就労継続支援B型事業所への農作業委託
- ・作業時期：6月～7月末
- ・作業頻度：基本毎日・福祉事業所へ持ち込んでの内職作業

農福連携に取り組んだ経緯

- ・農福連携に興味があった。
- ・既に農業者と福祉事業所との間で農作業委託の話ができていた。
- ・相談窓口では、作業内容の切り出しや作業工賃の調整、作業見学会への同行などを行い、マッチングが成立。

感想など

【農業者の感想】

作業品質は問題なくやってくれた。暑い時期でニラの品質は必ずしも良い物ばかりではなかったが、農家でも見極めが難しいので、問題なかった。福祉事業所に1コンテナ分やってもらえたことで自分たちの時間と心の余裕ができた。

【今後の展望（農業者）】

実施した時期はニラの品質が良くなかったためそぐり（外葉を取り除く作業）に時間がかかってしまった（健常者でも同様）。ニラの品質が良い時期であれば今回の実施時期の倍近くの作業スピードでできると思う。

作業内容



農業者が収穫したニラを選別し、良くない葉をそぐり（取り除き）、重さを測って結束する作業。

計量器や包丁、バッグシーラーなどを使う作業だが障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

そぐる（外葉を取り除く）前のニラには葉が5枚ほどついているため基本的には1～2枚ほどの葉をそぐる（取り除く）。

その後、計量器で重さを測り、完成品が100グラムを下回らないように根元数センチを包丁で切ってバッグシーラーで結束する。



作業マニュアル

静止画マニュアル



動画マニュアル



農福連携 事例紹介 ④



所在地：岡崎市

品目：自然薯

- ・ 自然薯農家でのパイプの洗浄作業と土詰め作業
- ・ 就労継続支援B型事業所への農作業委託
- ・ 作業時期：12～3月
- ・ 作業頻度：週2～3回程度・10：00～13：30頃

農福連携に取り組んだ経緯

- ・ 農福連携に取り組む前は人手が足りず、他の作業に充てる時間が取れずに困っていた。
- ・ 相談窓口では、作業マニュアルの作成や農福連携技術支援者の派遣などの支援を行い、マッチングが成立。

感想など

【農業者の感想】

障がい者の方が飽きずに作業をしてくれたので非常に助かった。自分の仕事の時間が取れるようになった。また、障がい者の方との会話も増えて、障がい者の方が社会に近づいているのが実感できてとても嬉しかった。

【今後の展望（農業者）】

現在は作業場での農作業委託なので、今後は圃場での農作業委託も視野に入れていきたい。

作業内容



自然薯の栽培が終わったパイプを洗淨する作業。ブラシのみを使用するため障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

パイプに土がついているため、水の入ったタンクにパイプをつけてブラシで擦っていく。

これから自然薯を栽培していくパイプに土詰めを行う作業。発泡スチロール製の軽いボールのみを使用するため障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

パイプにボールを挟んで幅を広げながら土を詰めていく。



作業マニュアル

洗淨・動画マニュアル



土詰め・動画マニュアル



農福連携 事例紹介 ⑤



所在地：岡崎市

品目：いちご

- ・いちご農家での出荷箱の箱折り作業
- ・就労継続支援B型事業所への農作業委託
- ・作業時期：4月
- ・作業頻度：月2回・10:00~12:00頃

農福連携に取り組んだ経緯

- ・岡崎市役所農務課の紹介。
- ・相談窓口では、農作業を請け負ってくれる福祉事業所探しや作業工賃の調整などの支援を行い、マッチングが成立。

感想など

【農業者の感想】

障がい者の方が作業に慣れるまでやや時間がかかったが、コツを掴んでからはスムーズに箱折り作業を進めてもらった。思っていたよりできた印象だった。

【今後の展望（農業者）】

折ってもらった箱を十分に溜めておくスペースがなかったため、今後もし依頼するときは箱折りの作業とは別の作業も並行しながらお願いしたいと考えている。

作業内容



いちごを出荷するための箱を組み立てる作業。

複雑な作業工程はないので、障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

箱の外側部分を谷折りにし、突起部分を溝にはめ込んで壁を作る。その後は、山折り・谷折りをよく見て順序よく折っていく。

最後に箱の下部を押し上げ、箱の中に仕切りを入れる。



作業マニュアル

静止画マニュアル



動画マニュアル



農福連携 事例紹介 ⑥



所在地：一宮市

品目：ほうれん草

- ・ほうれん草農家での下葉の調製作業
- ・就労継続支援A・B型事業所への農作業委託
- ・作業時期：2～3月
- ・作業頻度：週2回・10:00～12:00頃

農福連携に取り組んだ経緯

- ・前年度も別の品目で農福連携に取り組んでおり、今年度は新たな品目で農福連携に挑戦。
- ・相談窓口では、農作業を請け負ってくれる福祉事業所探しや作業工賃の調整、農福連携技術支援者の派遣などの支援を行い、マッチングが成立。

感想など

【農業者の感想】

品質も問題なく作業をしてくれたので非常に助かった。これまでは1人で作業を行っていたので、自分が他の作業に充てる時間が取れるようになった。

【今後の展望（農業者）】

暖冬の影響でほうれん草の収穫が当初の予定より早い時期に終わってしまったので福祉事業所に迷惑をかけた。他の品目も農福連携での農作業委託を引き続き検討していきたい。

作業内容



農業者が収穫したほうれん草の下葉を調製する作業。

複雑な作業工程はないので、障がい者の方でも取り組みやすい作業となっている。

根元付近の黄色くなった葉や折れた葉を取り、根元の部分を数センチ切る。

その後、上側の黄色くなった葉や折れた葉を取り、ほうれん草を揃えてカゴに入れる。



作業マニュアル

静止画マニュアル



動画マニュアル



愛知の農福連携取組事例集

令和 6 年 3 月 22 日

編 集 株式会社アグリトリオ
〒441-8560
豊橋市植田町字大膳 39-5
電話 0532-82-2862
印 刷 中部印刷株式会社

令和 5 年度愛知県農福連携推進事業「農福連携相談窓口
の運営及びマッチング業務」により作成しています。

【問い合わせ先】

愛知県農業水産局農政部農業経営課（教育・担い手グループ）

〒460-8501 愛知県名古屋市中区三の丸 3-1-2 TEL052-954-6409
